

以上の結果について、ポイントを整理すると以下の通りである。

- ・ 価格・数量共に増加要因であったが、近年は価格が主たる増加要因。
- ・ 価格帯別では、高価格の医薬品が増加要因。
- ・ 価格・数量別の寄与動向は、患者の年齢階層によって相違。
- ・ 64歳以下では、近年、人数、受診率、レセプト当たり数量の3要素全てが減少要因。
- ・ 前期高齢者、後期高齢者では、人数が増加要因であるが、近年では、受診率、レセプト当たり数量が減少要因。

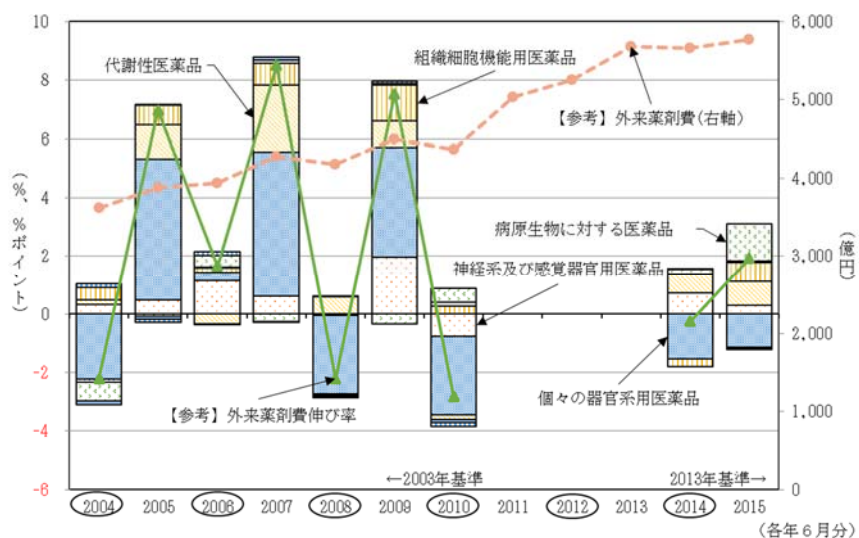
1. 2. 5. 薬効による要因分解

次は、外来薬剤費の変化を医薬品の薬効（大分類）別に分解していく。

（薬効別にみると、シェアの高い薬効の影響が大きい）

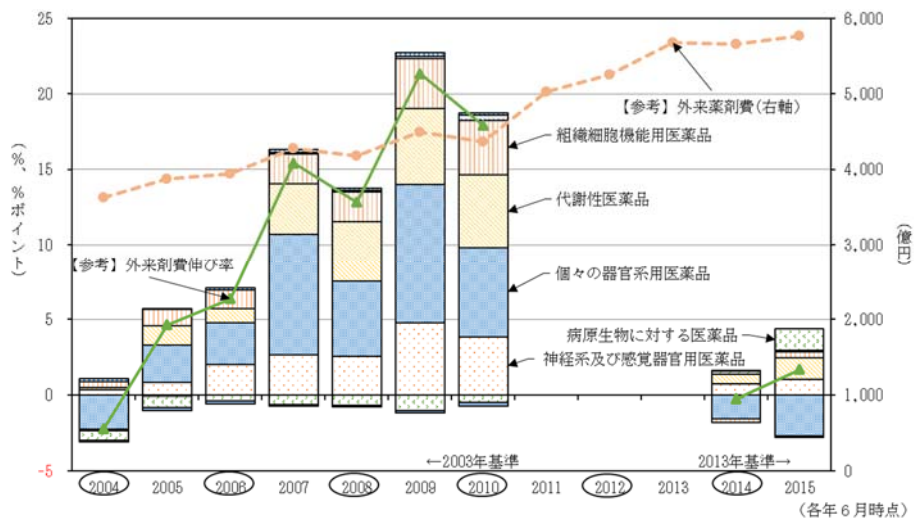
2004年以降、薬効別シェアが最も大きい「個々の器官系医薬品（血圧降下剤等）」（2004年、47.6%）の増減が外来薬剤費全体の変化に大きな影響を与えてきた。2003年基準の累積でみると、2010年までは増加要因である一方、2014年以降は減少要因となっている。他方、続いてシェアの高い「代謝性医薬品（血液凝固阻止剤等）」（同、17.4%）、「神経系及び感覚器用医薬品（精神神経用剤等）」（同、13.9%）は、2014年以降も増加要因である（図表1-2-26、27）。

図表1-2-26 外来薬剤費の増加要因分析（薬効（大分類）、単年）



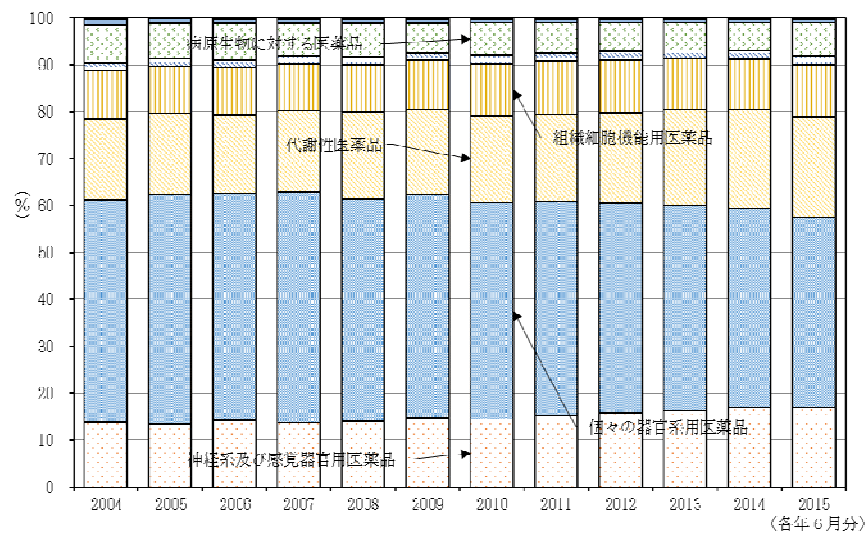
- （備考） 1. 厚生労働省「社会医療診療行為別統計（調査）」により作成。
 2. 横軸の丸印は、薬価改定年を示す。2014年は消費税増税分に相当する引上げを含む。
 3. 「薬剤名無記載」は除外して集計。

図表 1-2-27 外来薬剤費の増加要因分析（薬効（大分類）、累積）



（備考）図表 1-2-26 と同様に作成。

図表 1-2-28 外来薬剤費の構成比推移（薬効（大分類））

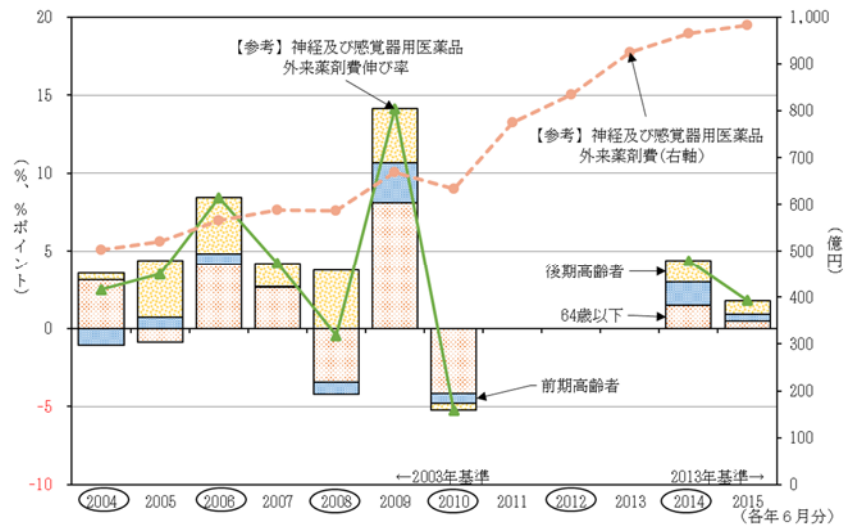


（備考）図表 1-2-26 と同様に作成。

（薬効により年齢階層別の寄与度に違い）

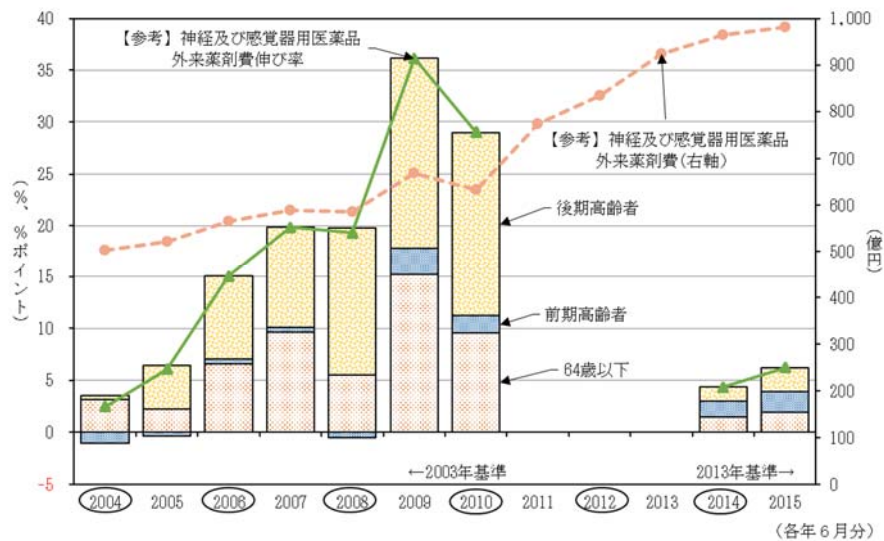
次に、薬剤費への影響が大きい3種類の薬効（大分類）について、年齢階層別の寄与度をみていく。「神経及び感覚器用医薬品」を年齢階層別にみると、後期高齢者及び64歳以下の増加寄与が大きい。2014年以降でみると、全年齢階層が増加要因である（図表1-2-29、30）。

図表 1-2-29 神経及び感覚器官用医薬品 外来薬剤費の増加要因分析
(年齢階層別、単年)



(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

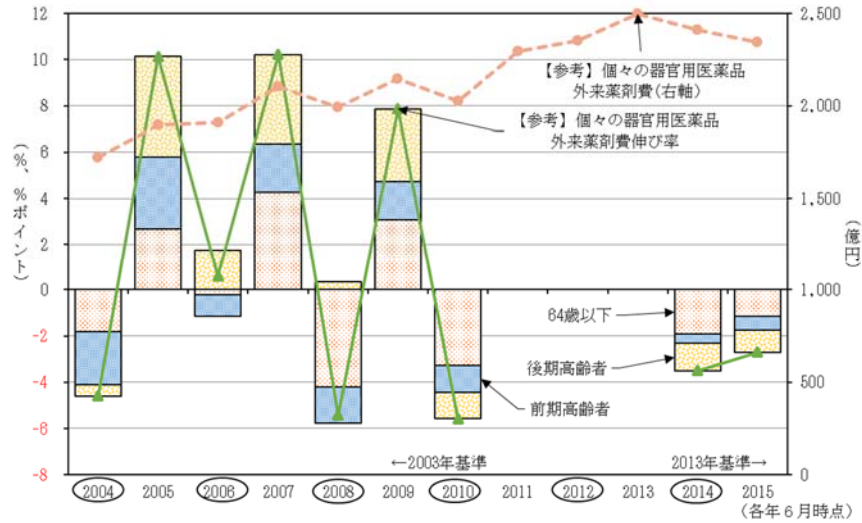
図表 1-2-30 神経及び感覚器官用医薬品 外来薬剤費の増加要因分析
(年齢階層別、累積)



(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

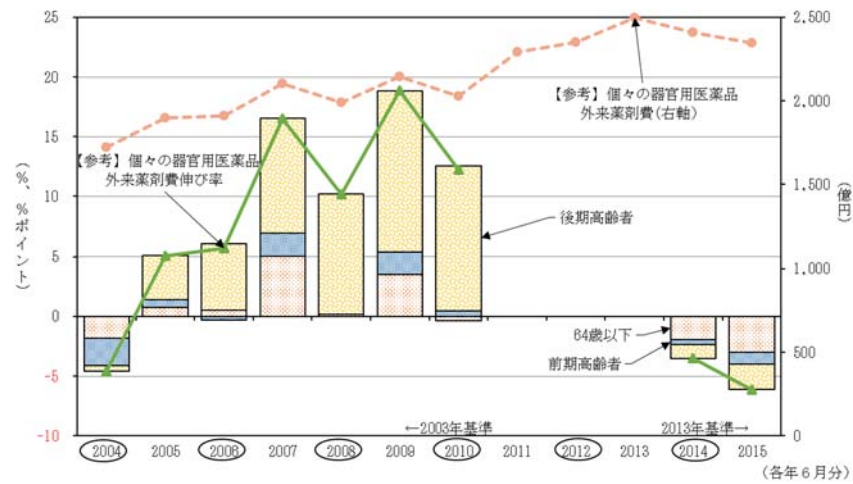
「個々の器官用医薬品（血圧降下剤等）」では、後期高齢者が主な増加要因であったが、2010年以降でみると、いずれの年齢階層でも減少している（図表1-2-31、32）。

図表1-2-31 個々の器官用医薬品 外来薬剤費の増加要因分析（年齢階層別、単年）



（備考）図表1-2-26と同様に作成。

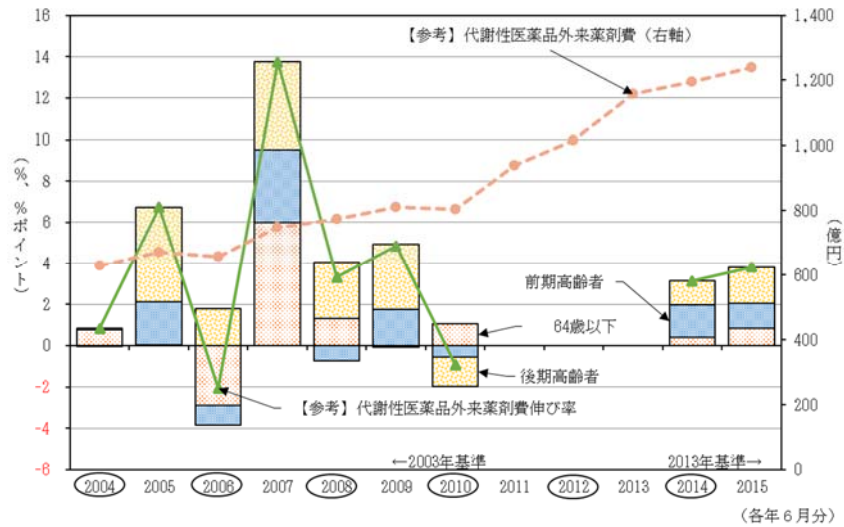
図表1-2-32 個々の器官用医薬品 外来薬剤費の増加要因分析（年齢階層別、累積）



（備考）図表1-2-26と同様に作成。

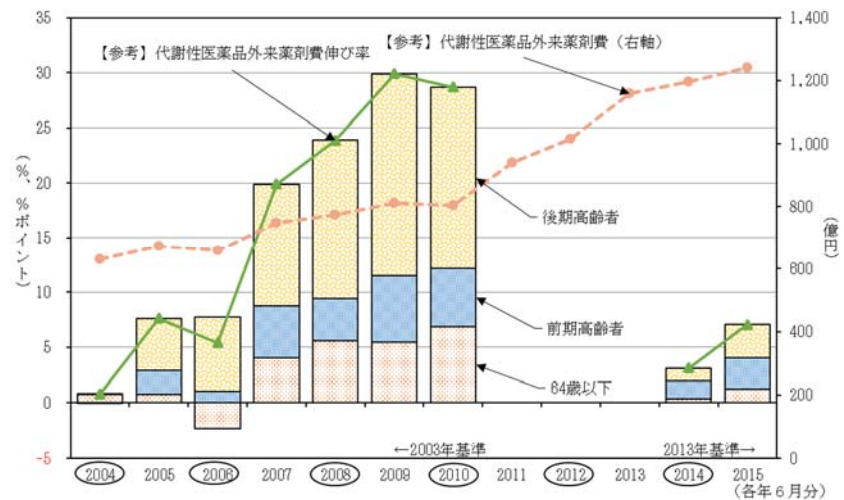
「代謝性医薬品（血液凝固阻止剤等）」では、全年齢階層が増加に寄与しているが、中でも後期高齢者の寄与度が大きい（図表1-2-33、34）。

図表 1-2-33 代謝性医薬品 外来薬剤費の増加要因分析（年齢階層別、単年）



(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

図表 1-2-34 代謝性医薬品 外来薬剤費の増加要因分析（年齢階層別、累積）

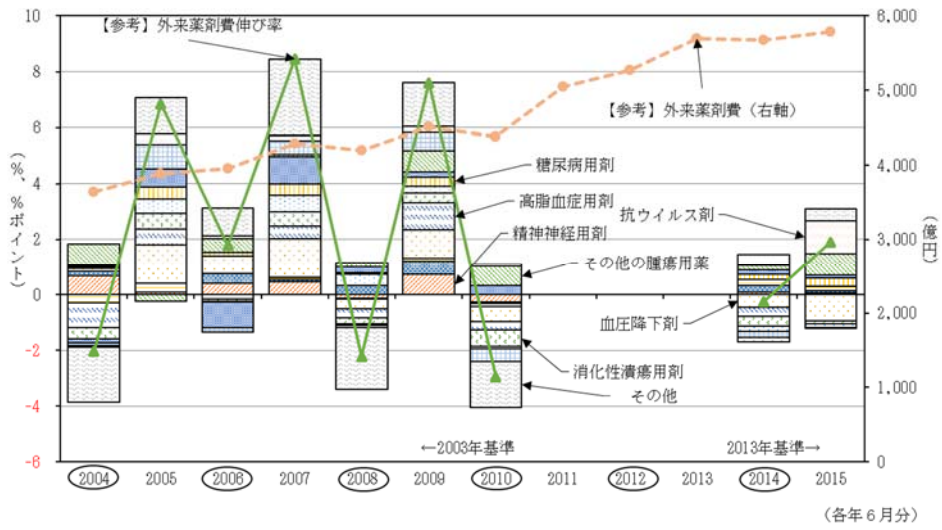


(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

（「血圧降下剤」は近年減少要因、「精神神経用剤」、「その他の腫瘍用薬」等が増加要因）

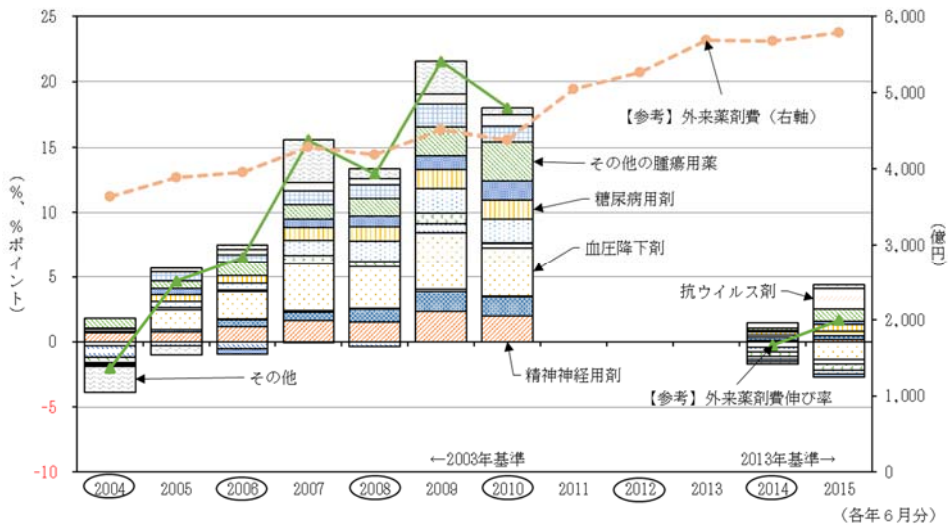
次に、シェアの高い薬効を抽出し、主要薬効の寄与度をみる。主要薬効別では、2004年以降、「血圧降下剤（大分類、個々の器官用医薬品）」が主な増加要因であったが、2014年以降では、減少要因に転じている。「精神神経用剤（同、神経及び感覚器官用医薬品）」、「その他の腫瘍用薬（同、組織細胞機能用医薬品）」等は、ほぼ一貫して増加要因である。近年では、「抗ウイルス製剤（同、病原生物に対する医薬品）」が増加要因となっている。

図表 1-2-35 外来薬剤費の増加要因分析（主要薬効別、単年）



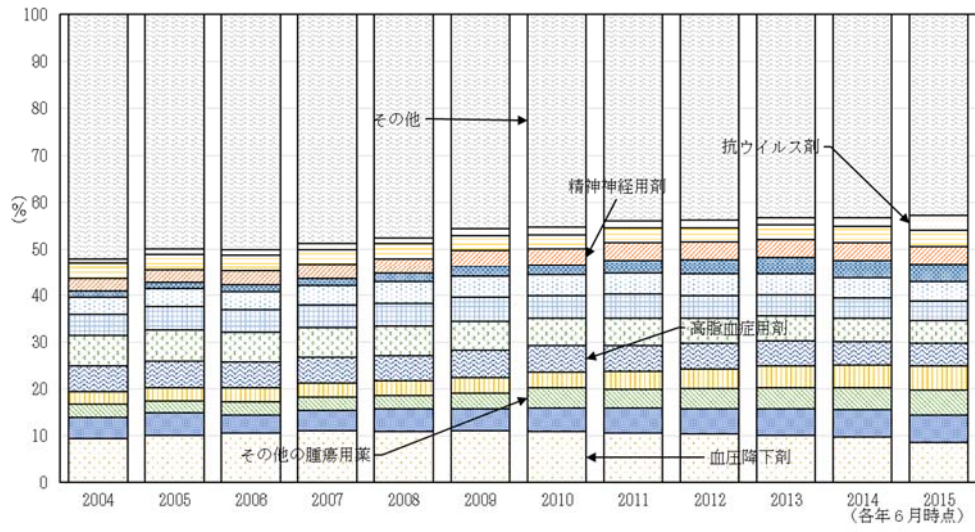
(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

図表 1-2-36 外来薬剤費の増加要因分析（主要薬効別、累積）



(備考) 図表 1-2-26 と同様に作成。

図表 1-2-37 外来薬剤費の構成比推移（主要薬効別）



（備考）図表 1-2-26 と同様に作成。